



DNライティング株式会社

シームレスライン照明器具 / 低輝度コンパクト型

**SAL-F A**  
(100V, 50/60Hz共用)

**取扱説明書**

**保存用**

10年05月15

本社・営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460  
仙台営業所 : 022-283-3401 名古屋営業所 : 052-322-2861 大阪営業所 : 06-6338-1081 広島営業所 : 082-233-8211

東京物流センター : 03-3691-3225 札幌営業所 : 011-824-5051  
福岡営業所 : 092-471-8075

**安全上の注意**







**警告**

- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。
- 不安定な場所では使用しないでください。器具の転倒や落下により漏電やケガの原因となります。
- 紙や布や断熱材などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。器具の故障や火災の原因となります。
- 器具に内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 器具の隙間に、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
- 取付工事やランプ交換や清掃のときは、必ず電源を切ってください。火災や感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。火災、感電、落下、ケガの原因となります。
- 器具の取り付けは、器具質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、接触不良により火災の原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。



**注意**

- 専用ランプ以外は使用しないでください。
- 電源電圧は、定格電圧±6%以内で使用してください。電源電圧が低いとランプ短寿命やチラツキの原因となり、高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋内用器具ですので、屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。故障や漏電、破損の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下によるケガや接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 器具を被照射物に近接した位置に取り付けしないでください。被照射物(面)が退色する場合があります。
- ランプ取付け、取外しの際は、ランプ両端の口金部分を持っておこなってください。破損しケガの原因となることがあります。
- ランプ取付時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。

	完全装着状態	不完全装着状態		
装着図				
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯

- ランプに物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。ランプの破損によりケガの原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 口金のピンが曲がり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 5kg以上の荷重をかけないでください。器具の故障や落下の原因となることがあります。

**ご使用上の注意**

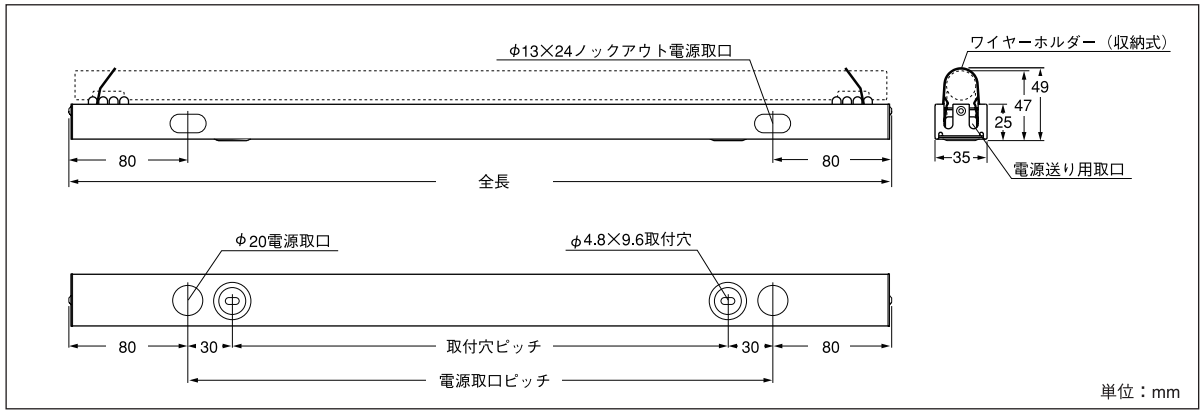
- 器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を40mm以上離してください。熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。
- 接続する電線は電源線にはVCTF0.75mm<sup>2</sup>を使用してください。
- 器具間の電源送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、最大10灯以内とし、他の器具は接続しないでください。また、渡りコードDKF以外は使用しないでください。
- 周囲温度は5℃～40℃の範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 器具清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤を湿した柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 電源波形の歪みや変動があるときはランプにチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- 器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が照明器具より発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 初めて点灯したとき、ランプの電極付近が黒くなる場合がありますが、しばらく点灯しておくと消えます。
- 強い風が当たる場所は避けてください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- 点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。
- 寿命になったランプは、早めに交換してください。
- 照明器具を上向き設置以外で設置する場合には、ワイヤーホルダーを必ずご使用ください。
- 漏電遮断機の種類によって電子安定器からの高周波の漏洩電流により漏電遮断機が動作する場合がございます。この場合には高周波対応型漏電遮断機をご使用ください。

**定格**

形式	適合ランプ	灯数	全長 (mm)	取付穴ピッチ (mm)	電源取口ピッチ (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	ランプ電力 (W)	力率
SAL-F 500A	FRT 500	1	500	280	340	0.45	100	0.18	18	12	高
SAL-F 850A	FRT 850	1	850	630	690	0.60	100	0.27	26	20	高
SAL-F1000A	FRT1000	1	1000	780	840	0.65	100	0.30	30	23	高
SAL-F1250A	FRT1250	1	1250	1030	1090	0.75	100	0.38	37	29	高
SAL-F1500A	FRT1500	1	1500	1280	1340	0.85	100	0.43	42	33	高

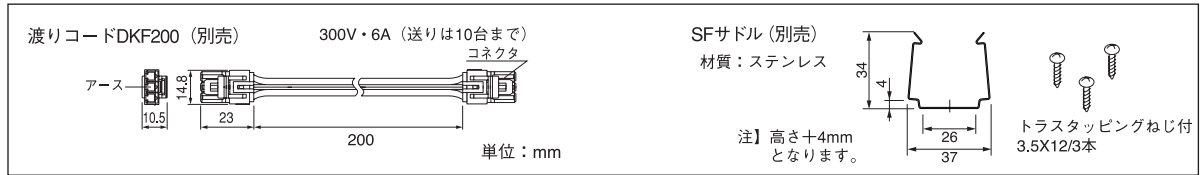
● 周波数50/60Hz共用 ● 接続する電線は、VCTF0.75mm<sup>2</sup>を使用してください。 (仕様と定格は予告なく変更することがあります。)  
● 電源送りは最大10灯以内とし、シームレスライン照明器具以外は接続しないでください。

# 各部の名称と外形寸法



付属品: プッシング1ヶ、取付用ねじ(φ3.5×20mmトラススタッピングねじ2ヶ)

本体: アルミ(アルマイト仕上げ)



## 取付方法

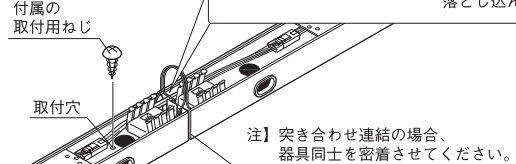
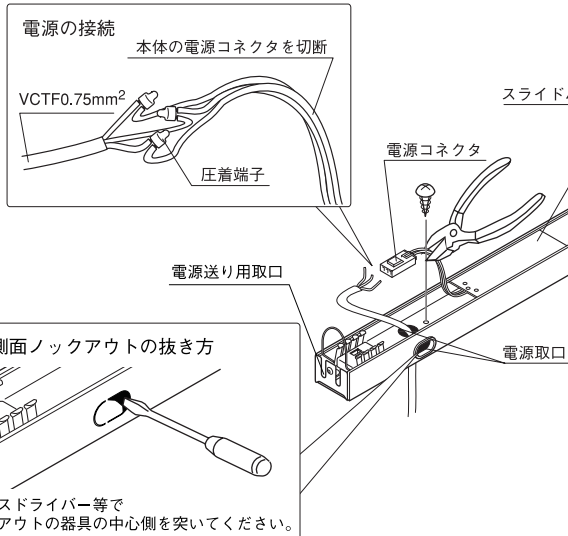
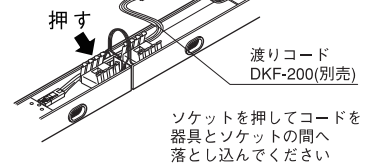
### 1. 器具の取付け

- 器具両端のスライドハッチを開け、付属の取付用ねじで固定してください。
- ※器具の長さに応じて取り付けられるSFサドル(別売)でも取付けできます。詳しくはSFサドルの取扱説明書をご覧ください。

### 2. 電源の接続(& 渡りコードの接続)

- 器具本体の電源コネクタを切断し、VCTF0.75mm<sup>2</sup>(電源線)と圧着等で結線してください。結線部分は器具内に収納してください。
- スライドハッチをカチッと音がするまで閉じてください。

渡りコードの接続(電源の送り)  
別売の渡りコードDKF-200を使用して最大10灯まで取り付け出来ます。※渡りコードDKF以外は使用しないでください。



※SFサドル(別売)での器具取付け  
SFサドル2個を器具の長さに応じて取り付け、器具をサドルの上から確実に固定してください。注] 高さ+4mmとなります。

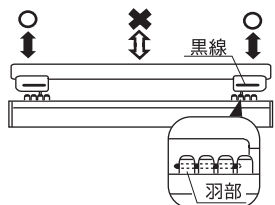


### 3. ランプの装着

- ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。

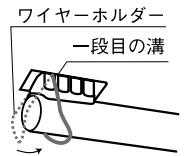
#### ・上向き取付

ランプ両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。



#### ・上向き取付以外

ワイヤーホルダーをおこし、ランプの両端を持ってソケットにパチッと音がするまで確実にセットし、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まっていることを確認してください。ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に正しくセットしてください。



※ランプ取り外しの際は、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。  
注] ランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付けられない場合やランプが破損する場合があります。

注] 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。

### 4. 電源の供給

- 全ての作業が完了したら電源を入れ、ランプが点灯することを確認してください。
- シームレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。
- 注] 電源を数秒間隔で「入り」-「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。